第17号

広域広報 なんぶ

サザン協、理事会を開催（６ｐ）

視聴覚機材が無料で借用できます。（５ｐ）

南部広域行政組合ホームページ
http://www.nanbukouiki-okinawa.jp/

短期研修を開催（３ｐ）

総務・議会・教育委員会　２ｐ
島尻教育研究所　３ｐ
適応指導教室（しののめ教室）　４ｐ
視聴覚ライブラリー　５ｐ
一般廃棄物処理施設建設準備室・サザンクリーンセンター推進協議会　６ｐ

広域広報
発行者　南部広域行政組合

平成23年12月発行
八重瀬町字東風平９６５番地　TEL（０９８）９９８－８３９０
南部総合福祉センター（２階）　FAX（０９８）９９８－９４２０

教育委員会を開催

南部広域行政組合教育委員会では、平成23年10月12日に定例会を行った。定例会では、22年度事業報告及び決算、平成24年度事業計画及び負担金について議会に提案するに伴い、審議を行った。

審議内容については次のとおりです。

第４回議会（定例会）
（10月12日）

○報告第２号　平成22年度南部広域行政組合事業報告

○報告第３号　平成22年度南部広域行政組合一般会計歳入歳出決算報告

○議案第４号　平成23年度南部広域行政組合一般会計補正予算（第１号）
☆原案可決

○報告第４号　平成23年度教育事業中間報告

○議案第５号　平成24年度島尻教育研究所負担金について
☆原案可決

○議案第６号　平成24年度適応指導教室負担金について
☆原案可決

○議案第７号　平成24年度視聴覚ライブラリー負担金について
☆原案可決

○報告第５号　平成24年度教育研究員募集要項について

○報告第６号　適応指導教室事業について

議長に上原氏

南部広域行政組合議会では組合議員の任期満了に伴い、８月10日に臨時会を開催し、議席の指定及び正副議長の選挙を行いました。また10月24日には定例会を開催し、平成22年度の一般会計予算の決算を審議いただきました。

審議内容については次のとおりです。

第３回議会（定例会）
（８月10日）

○選挙第１号　議長の選挙
☆上原勲氏が当選

○選挙第４号　副議長の選挙
☆知念昭則氏が当選

○同意第２号　議会代表監査委員の選任について
☆儀間信子氏を任命

○同意第３号　教育委員会委員の任命について
☆新垣一典氏を任命

第４回議会（臨時会）
（10月24日）

○報告第１号　平成22年度南部広域行政組合事業報告

○議案第３号　平成22年度南部広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定について
☆原案可決

○議案第４号　平成23年度南部広域行政組合一般会計補正予算（第１号）
☆原案可決

○議案第５号　南部広域行政組合の公平委員会の事務の委託に関する規約を定める協議について
☆原案可決

○報告第２号　平成23年度ごみ処理事業市町村別負担金額の訂正について
☆原案可決

○次年度事業を審議
財政課長及び共同処理事務担当者会議
（11月２日）

11月２日に、次年度の負担金審議のため、構成市町村の財政課長及び組合事業関係課長を集め説明会を行った。会議では平成22年度事業報告及び決算、平成24年度事業計画及び予算（サザンクリーンセンター推進協議会も含む）の説明を行った。

○次年度負担金を承認
関係市町村長協議会
（11月10日）

11月10日に構成13市町村の関係市町村長協議会を開催した。

会議では、24年度負担金について審議し承認された。

組合はこの承認を経て、組合構成市町村への負担金計上依頼を行う。

島尻教育研究所

長期研修

平成23年度前期までに２１９人の修了生を送り出しました。

各自の研究テーマに基づき、幼稚園四ヶ月間（平成23年度より）、小中学校六ヶ月の間の研修を行いました。幼稚園（比嘉裕子教諭、与儀久美子教諭、城間真由美教諭、川端和歌子教諭）、小学校（土屋勢子教諭、城田モト子教諭、前信司教諭）が、研究成果の報告を９月15日に行いました。長期研修においては、各自のテーマ追究の他、所内外の研修を通して教員としての資質の向上を図っています。

短期研修

◆研究主任研修会

第一回目（４月11日）は神里美智子教諭（佐敷中学校）、第二回目（７月28日）は小林稔准教授（京都教育大学）を講師としてお招きし開催した。神里教諭は、秋田県での実践を具体的な資料をもとに説明した。小林准教授は、ブレーンストーミングというワークショップ型の研修の手法について講義していただいた。

◆ワークショップ型研修会

７月26日、27日の両日、域内小中学校単位での研修会を行った。二日間で糸満南小、兼城中、東風平小、与那原中、与那原小、与那原東小、高嶺中、西崎小、馬天小、知念小、玉城小、百名小の教職員、計２０５名が受講した。校内研修会や校内における各種検討会に於いて、教職員が協働的に課題を共有し、その解決に向けて指導力の向上を図ることが出来る一つの手法としてのワークショップ型研修会である。

ワークショップ型研修会の様子

研修支援

◆幼稚園教頭主任研修会

８月17日に大城美恵子指導主事（県教育庁義務教育課）、村吉和美主任（那覇市立金城幼稚園）を招聘し、幼稚園の教頭・主任としての指導力の向上と幼稚園の今日的な課題の解決に向けて研修を行った。

◆離島出前講座

へき地学校のよさを生かした教育活動や自校の課題等の解決に向けた研修を支援する今年度新規の講座である。

今年度は渡嘉敷村（渡嘉敷小中、阿波連小）、粟国村（粟国幼小中）で実施した。

◆島尻地区教育研究団体連絡協議会（島教連）結成総会

６月21日、島尻教育研究所域内の教育研究団体が一堂に会し教育活動の充実を図り、教育研究団体間の連携を密にし、島尻教育の振興に寄与する目的で結成した。会長（新垣忠是真嘉比小校長）、副会長（安谷屋守松与那原中校長）でのスター

「島教連」の役員

東雲の会

９月15日前期報告会の後、第八回「東雲の会」が盛大に行われた。修了生による実践発表の後の総会において、金城桂子会長、平田勝典副会長、平安山良康副会長、上原順子会計、稲嶺彰子会計の新役員が承認された。情報交換会においては、上原敏彦島尻教育事務所長、赤嶺正之南風原教育長、高嶺朝勇南城市教育長より、激励のあいさつをいただいた。

東雲の会実行員の余興

平成23年度（後期）長期研究員

大城喜史	尾崎優子	井口憲治	桃原真子	神里真利子	中本勝子	平良智子
佐敷中学校	大里北小学校	馬天小学校	北丘幼稚園	白川幼稚園	とよみ幼稚園	座安幼稚園
中学校技術	小学校国語	小学校算数	幼稚園教育	幼稚園教育	幼稚園教育	幼稚園教育

しののめ教室

適応指導教室『しののめ教室』には体験入室を含めて、現在中学生６名、小学生２名計８名の皆さんが通っています。

学習面は、学校からの課題や宿題を、その他基礎固め学習として漢字や英単語、数学、社会その他のプリント学習にも取り組んでいます。自分で計画を立て学習する自学の時間もあります。夏休みには、外部講師による「理科実験教室」を開き、他の教室からの参加もありました。

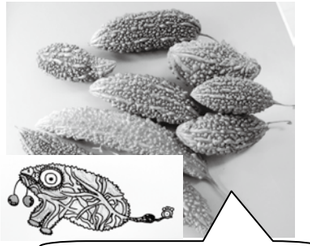
体験活動は、菜園でのゴーヤ、オクラの「栽培収穫」や「三線」、外部講師による「お菓子作り」、「折紙」もしました。特に「調理」はみんな大好きです。収穫したゴーヤのチャンプルは得意料理です。

校外での活動は「バドミントン」や「宿泊」「施設見学」など、他教室との交流を楽しみながら学習しています。

おしゃべりな子、無口な子、一人が好きな子、勉強大好きな子、読書が好きな子、食べるの大好きな子、洋楽が好きな子、時を忘れて没頭する子、お家が大好きな子、絵が得意な子。どの子も個性的です。それぞれの希望や夢の実現に一歩でも近づくようサポートしていきます。

古堅先生による折り紙教室

渡嘉敷キャンプ



台風にも負けないゴーヤを収穫

糸満での野外炊飯

体験活動を通じて学ぶこといっぱい

大嶺先生による料理教室

活動展示会

與那嶺先生による理科実験

五感をつかって！

ご協力に感謝！

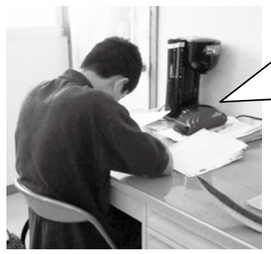
学校から校長先生や担任の来室に励まされ、体験教室講師をはじめとする多くの方々に支えられ、子どもたちは少しずつ自信を取り戻し、また夢や希望を抱きつつ成長しています。

今後も、各市町村や相談室と連携をとり、活動します。ご協力ありがとうございます。

気軽に相談を!!

子どものこと、家族のこと･･･。地域には　福祉、医療、教育などの相談窓口があります。

誰かに話してみることも、解決策の一つです。



学習の様子

南部広域行政組合島尻教育研究所
適応指導教室「しののめ教室」
TEL:(098)998－9561
FAX:(098)998－9420
担当：宮城

視聴覚ライブラリー機材教材の貸出について

視聴覚ライブラリーにおける資料は、組合を構成する市町村の小中学校、社会教育団体及び教育文化団体、その他館長が適当だと認めたものに対して無料で機材教材の貸出を行います。

貸出対象市町村（12市町村）

北大東村	南大東村	渡嘉敷村	粟国村	座間味村	渡嘉敷村	八重瀬町	与那原町	南風原町	南城市	豊見城市	糸満市

○開館時間：9時～16時まで
○休　館　日：土・日・祝祭日

教材検索ができます

ホームページにて、ライブラリーが保有している教材の検索ができます。その他、オススメ教材も紹介していますので、是非ご覧下さい。

www.nanbukouiki-okinawa.jp/avl

機材教材の配送・回収やってます

管内市町村の保育園・幼稚園・小中学校、各種団体への搬配送回収を週３回（月水金）行っています。前日までに電話にて予約してください。
※離島は『とまりん』にて船積みします。

スポットライト

ワイヤレスアンプ

書画カメラ

スライド映写機

集音マイクセット

スクリーン

OHP

16 ㎜映写機

ﾌﾞﾙｰﾚｲﾌﾟﾚｲﾔｰ

レーザーポインター プレゼンマウス

マルチメディアプロジェクター

最終処分場建設を承認

～サザンクリーンセンター推進協議会理事会を開催～

11月9日（水）南部総合福祉センターにおいてサザンクリーンセンター推進協議会（会長・古謝景春南城市長）の理事会が開催され、平成21年5月の理事会において「限りなくゼロエミッション方式を推進する」とした、いわゆる「最終処分場は造らない」事を決議したこれまでの方針を転換し、最終処分場の建設に取り組む事をサザン協の最高意思決定機関である理事会で見直した。背景には、南部地区において自前の最終処分場を建設する事を前提に、南部三清掃施設組合の焼却残渣等を平成22年度まで預託、委託処理する協定を結んでいた倉浜衛生施設組合側から、「協定書の内容が変わった」として協定書の見直しが通知され、南部の残渣処理が一年前倒しで打ち切られる事態となった。

これについては、サザン協の前身である南部地区廃棄物処理施設整備推進協議会（南廃協）時代にも最終処分場建設が頓挫した経緯から、倉浜衛生施設組合のある沖縄市の自治会から南部地区の残渣受け入れに対する強い反発があった事も否めない。

■ゼロエミを見直す

倉浜衛生施設組合から、三清掃組合の残渣受け入れが一年前倒しとなった事を受けたサザン協では、副市町長で構成する幹事会を平成21年度に設置。幹事会では理事会で決議された「限りなくゼロエミッション方式を推進する」とした理事会の方針と、目の前の焼却残渣等の処理問題解決を図る「最終処分場建設の是非」も含め、平成22年度は計10回の会議を開催し、処理方式の違いによる財政負担等を比較検討し、議論を重ねてきた。

そして今年の2月には、「他地区に最終処分を依存する現状では最終処分場によらないゼロエミッション化は財政的に大変厳しく、自前の最終処分場建設は喫緊に取り組むべき最重要課題である」といった幹事会からの中間報告が理事会で示された。これにより平成21年5月に決定した「限りなくゼロエミッション方式を推進する」とした方針を見直す考えだったが、一部の理事から、「即決は厳しい」「議論する時間が必要だ」などの意見が挙がり、方針転換については継続審議となっていた。

その後、最終処分場建設に態度を保留していた糸満市・豊見城市清掃施設組合側が参画を表明。更に島尻消防清掃組合の管理者でもある古謝会長が平成24年度で基幹改良期を迎える同組合の焼却施設を閉鎖し、その跡地周辺に最終処分場を建設する意向を表明したことなどを受け、「最終処分場は造らない」とした方針を見直し、サザン協として再度最終処分場建設に取り組む事を決定した。

■輪番制も承認

今回決定された最終処分場の建設は、中間報告書の提出後に処分場建設に態度を保留していた糸豊側が最終処分場に参画することを受け、協議を再開していた幹事会からの答申に基づいたものである。従来のオープン型最終処分場とは違い、埋め立て部分を屋根で覆う「被覆型」とし、雨水の侵入や廃棄物の飛散、悪臭防止等の効果があり、周辺環境に最大限配慮した最終処分場である。埋め立ての規模は11万2千㎥を想定。建設地は構成6市町で15年を目途に公平に負担する「輪番制」とする事が承認された。また処分場建設や維持管理に係る負担割合についても三清掃組合と、他地区の負担割合の状況を比較検討した結果、建設費・起債については搬入量割70％、均等割30％、運営費については１００％搬入量割とする事も承認された。

古謝会長は「これから大変な作業に入るが、生半可な気持ちではなく、しっかり市民に理解してもらい、我々が抱えている課題について解決して行くという覚悟を持って進めて行きたい」と決意を述べた。

会議ではこのほかに平成22年度のサザン協事業報告及び歳入歳出決算報告も行われ、いずれも全会一致で承認された。